

令和3年度 決算説明資料

令和4年10月6日

環境局

目 次

	頁
1 オフィスの環境負荷低減実証事業の概要 -----	1
2 住宅等の低炭素化促進補助等の執行状況 -----	2
3 水素潜在利用量等の調査概要 -----	3
4 他局事業と連携したプラスチック削減の啓発等 -----	4
5 破碎施設の発火件数及び発火対策 -----	5
6 焼却灰発生量及び処理量 -----	6
7 埋立量の推移 -----	7
8 西資源センターの概要 -----	8

1 オフィスの環境負荷低減実証事業の概要

区 分	内 容
趣 旨	環境局環境企画部において、フリーアドレスの導入・ペーパーレス化の推進等により、オフィスにおける環境負荷の低減に取り組む。
内 容	・フリーアドレスの実施、オンライン会議スペースの新設による業務の効率化 ・用紙類の使用に関する共通ルールの設定、モバイルP Cの導入や打合せスペースへのモニターの設置等によるペーパーレス化の推進 ・間伐材を使用した執務机、パーテーション等の木質化
効 果	用紙削減枚数 85, 182枚（前年度比△26%）

2 住宅等の低炭素化促進補助等の 執行状況

区 分	令和2年度		令和3年度	
	決算額 (千円)	執行率 (%)	決算額 (千円)	執行率 (%)
太陽光発電設備	45,361	64.5	55,239	51.0
蓄電システム	35,505	98.6		
H E M S	990	99.0		
Z E H	24,000	100.0	24,550	77.9
V 2 H 充 放 電 設 備	—	—	400	40.0
家庭用燃料電池 シ ス テ ム	10,300	68.7	10,290	68.6

(注1) HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）とは、エネルギーの利用状況を「見える化」し、管理するとともに、家電を効率的に利用するための設備をいう。

(注2) ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、高断熱化や高効率設備等による省エネルギー化と太陽光発電等を組み合わせることで、家庭で消費する年間エネルギー量を正味でゼロ以下にする住宅をいう。

(注3) V2H（ビークル・トゥ・ホーム）充放電設備とは、太陽光発電設備等からの電気を電気自動車等に充電するとともに、充電した電気を夜間や停電時には住宅へ供給する設備をいう。

3 水素潜在利用量等の調査概要

区 分	内 容
目 的	・産業分野における将来的な水素の需要量及び水素エネルギーへの転換による温室効果ガスの削減効果を調査 ・本市地球温暖化対策実行計画の改定作業に調査結果を活用
内 容	・水素に関する国の戦略、計画等の整理 ・各分野の事業者ヒアリング ・各分野における将来的な水素需要量の推計 ・温室効果ガス削減効果の推計
結 果	(1) 2030年時点での水素需要が期待される主な分野 ・発電分野 ・都市ガス分野 ・モビリティ分野 (2) 2030年時点での水素潜在需要量及び温室効果ガス排出削減量の推計値 ・水 素 潜 在 需 要 量：約8.6万トン ・温室効果ガス排出削減量：約205万トン

4 他局事業と連携したプラスチック削減の啓発等

(1) 他局事業と連携したプラスチック削減の啓発

連 携 先	事 業 内 容	啓 発 品	調 達 数
スポーツ市民局	市公式LINEの ともだち募集	付 箋	2,000個
観光文化交流局	多文化共生・ 姉妹友好都市の啓発	付 箋	1,000個
健康福祉局	献血・骨髄バンクの 普及啓発	ボックス ティッシュミニ	10,000個
緑政土木局	堀川の浄化に係る啓発	紙製水切り袋	2,000個
交 通 局	市営交通100周年 事業のPR	メ モ 帳	5,000冊

(2) プラスチック包装を使用した啓発用ポケットティッシュの調達状況

件 数	調 達 数
1 件	29,000個

5 破碎施設の発火件数及び発火対策

(1) 発火件数

(単位：件)

区 分		令和2年度		令和3年度	
工 場		大江破碎 工 場	北名古屋 工 場	大江破碎 工 場	北名古屋 工 場
発火件数		69	535	48	527
原因	電 池 類	5	372	6	322
	電子タバコ	—	42	—	81
	スプレー缶・ ライター	—	3	—	3
	不 明	64	118	42	121

(2) 発火対策

場 所	主 な 対 策
ごみピット	検知器、監視カメラ、放水銃
破 碎 機	検知器、防爆設備
選 別 設 備	検知器、監視カメラ、消火散水設備

6 焼却灰発生量及び処理量

(単位：トン)

区 分			令和2年度	令和3年度
焼却灰発生量			47,713	42,372
資 源 化	溶 融	鳴海工場	17,957	17,804
		民間 A	5,561	4,912
	セ メ ン ト	民間 B	349	2,429
		民間 C	695	867
	焼 成	民間 D	100	1,455
	小 計		24,662	27,467
埋 立	愛 岐 処 分 場		6,064	201
	第 二 処 分 場		5,008	2,751
	衣浦港3号地廃棄物 最 終 処 分 場		11,979	11,953
	小 計		23,051	14,905

(注1) 数値は他市町分を除く。

(注2) 愛岐処分場には、上記焼却灰に加え、不燃ごみ等も埋め立てている。

7 埋立量の推移

(単位：トン)

年 度	愛岐処分場	第二処分場	衣浦港3号地 廃棄物最終 処 分 場	合 計
平成29年度	24,107	11,693	12,896	48,696
平成30年度	18,553	10,536	11,988	41,077
令和元年度	23,788	10,515	12,013	46,316
令和2年度	9,933	5,008	11,979	26,920
令和3年度	4,460	2,751	11,953	19,164

(注) 数値は他市町分を除く。

8 西資源センターの概要

(1) 施設の概要

事 項	内 容
敷 地 面 積	約 9, 8 0 0 m ²
建物延床面積	約 1, 1 0 0 m ²
完 成 年 度	令和 6 年度 (予定)
実 施 業 務	ペットボトルの選別、圧縮梱包、一時保管 空きびん・空き缶の一時保管
設 備 規 模	ペットボトル 4 トン/日 空きびん 3 0 トン/日 空き缶 1 5 トン/日
避 難 所 施 設	管理棟 2 階研修室 (1 0 0 名収容可能)

(2) 管理棟平面図

